

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 山喜株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3598 URL <https://www.e-yamaki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白崎 雅郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部門長 (氏名) 中田 一裕 TEL 06-6764-2211  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	6,156	5.6	281	—	347	763.0	256	—
2023年3月期第2四半期	5,829	14.7	△57	—	40	—	22	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 357百万円 (—%) 2023年3月期第2四半期 △6百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	18.07	17.98
2023年3月期第2四半期	1.59	1.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	12,157	4,248	34.8
2023年3月期	12,279	3,890	31.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,232百万円 2023年3月期 3,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無  
 2024年3月期の配当につきましては、現時点では未定としております。

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,300	7.9	267	—	250	—	180	△61.6	12.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	14,950,074株	2023年3月期	14,950,074株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	773,183株	2023年3月期	781,883株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	14,172,469株	2023年3月期2Q	14,168,191株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、ウイズコロナへの行動制限の緩和を受け、各種イベントの再開やインバウンド需要増など、サービス業の売上回復が見込まれる状況となっております。一方、個人消費は、コロナ禍で一時的に控えていた消費需要の回復や賃金の上昇等により緩やかな回復基調にあるものの、不安定な国際情勢の長期化や、円安ドル高基調による物価上昇等の影響により、景気の先行きは依然不透明な状態が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループにおいてもコロナ禍以前と比較し、多様な働き方やワークスタイルの変化による影響はあるものの、外出機会が増えたことにより人の動きが活発化し、得意先の店頭売上も増加傾向にあることから業績は回復基調にあります。

加えて、売上の拡大と収益の回復を目的に、2023年度からスタートした「新中期3ヵ年経営計画」の施策を確実に実行していく中、売上高の増加とともに収益面でも黒字基調に転じております。なお、2023年度からスタートしている「新中期3ヵ年経営計画」の基本方針に対する進捗状況は、以下のとおりであります。

#### ① オリジナルブランドの構築

百貨店チャネルのドレスシャツ売場におきましては、継続して実施している「CHOYA」ブランドのコーナー化・一社化・ショップ化の営業政策により、既製ドレスシャツのシェアは75%、同じくオーダーシャツのシェアも75%まで拡大しております。既製ドレスシャツにつきましては、「CHOYA」ブランドの超形態安定シャツ・スリムフィットのリピーターが若者を中心に増えていることから、バリエーションとスタイル提案を強化し、知名度アップとさらなるFAN獲得を図ってまいります。オーダーシャツにつきましては、ライセンスブランドの絞込みに伴い、「CHOYA」ブランドの拡大を図ってまいります。

量販店チャネルにおきましては、「SHIRT HOUSE」ショップ名のコンセ売場が前連結会計年度末の109店舗から当第2四半期連結会計期間末では115店舗まで増加しております。復活を目指す「SWAN」ブランドにつきましては、2023年春夏物よりお手入れが簡単なトリコット素材を使用した既製ドレスシャツでの展開がスタートし、2024年春夏物におきましても、さらにコンセプト・ラインを拡げ、「SWAN」ブランドの売上拡大・FANづくりに努めてまいります。

#### ② B to Cの強化による収益アップ

消費者直販型事業（B to C）の強化におきましては、自社サイトである山喜オンラインショップの会員数が、前連結会計年度末の26,651名から、当第2四半期連結会計期間末では29,635名にまで増加し、売上も前年同期を上回っております。ネット販売における営業・企画人員の補充および強化に加え、顧客対応ツールの導入等、販売促進策を実行することで、さらなる売上・収益の拡大を図ってまいります。

百貨店チャネルの既製ドレスシャツ・オーダーシャツ売場の消費者直販型事業におきましては、取引形態の消化売上移行による条件改定、小売価格のアップ等により、収益が拡大しております。引き続き、消化売上店舗の拡大と直営店の新規出店も視野に入れ、収益拡大に努めてまいります。

量販店チャネルの消費者直販型事業である「SHIRT HOUSE」におきましては、小売価格の見直し、コーディネート販売の強化、店頭販売員のスキルアップのための教育などを徹底したことにより、売上・収益面ともに順調に推移しております。今後は1店舗当たりの運営効率を向上させるために、販売員付きのコンセ売場の坪数を拡げ、フエイスの拡大を図ってまいります。

#### ③ ドレス・カジュアル・レディース・ユニフォームの新商品開発と売上拡大

2023年春夏物は猛暑の影響もあり、ドレスシャツを中心に好調に推移した結果、売上高は概ね計画通りの実績で推移しました。一方、粗利益についても、前期から継続して実施している納品価格交渉の成果と、為替予約方法の見直しにより、計画数値を上回ることができました。

カジュアルにおきましては、引き続きニット素材のビズポロシャツが好調で、なかでもトリコット素材を使用した商品の品揃えが増加し、ニットアイテムは拡大傾向にあります。レディースにおきましては、ブラウス・パンツ・スカートのセットアップ企画で、バンブーレーヨン等のエコ素材の提案、ユニフォーム関連におきましても、トリコット素材を使用した商品が好調に推移しており、イージーケア性に優れた同素材を使用したスクールシャツの提案等、新商品を強化することで、売上の拡大を図っております。

また、2024年春夏物に向けては、好調なトリコット素材に微細な柄表現を施した転写捺染プリントシャツや、超形態安定ニット素材（ノンケア）などを使用したビズポロシャツ、汗などの水分の吸熱冷感加工素材（キシリトール）等、新商品の提案を強化し、受注拡大に努めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高61億56百万円（前年同期は58億29百万円）、営業利益2億81百万円（前年同期は57百万円の損失）、経常利益3億47百万円（前年同期は40百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億56百万円（前年同期は22百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は121億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億22百万円減少いたしました。この主な要因は、製品の減少等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は79億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億79百万円減少いたしました。この主な要因は、短期借入金の減少等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は42億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億57百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ2億44百万円増加し13億80百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間に営業活動により得た資金は、8億47百万円（前年同期は1億51百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上や、棚卸資産の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、68百万円（前年同期は34百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、5億32百万円（前年同期は1億84百万円の支出）となりました。これは主に短期借入金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、今後の為替相場の状況や季節変動の状況により不透明な為、現時点におきましては、2023年5月15日の「2023年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想の修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,190,003	2,478,740
受取手形、売掛金及び契約資産	1,916,136	2,076,651
製品	3,676,238	3,286,453
仕掛品	94,324	98,064
原材料	190,219	252,995
その他	879,030	600,262
貸倒引当金	△210	△210
流動資産合計	8,945,742	8,792,958
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	796,792	820,693
機械装置及び運搬具（純額）	47,114	42,199
土地	1,917,436	1,936,056
その他（純額）	26,686	24,030
有形固定資産合計	2,788,029	2,822,979
無形固定資産	417,334	395,683
投資その他の資産		
投資有価証券	78,265	98,298
退職給付に係る資産	2,071	8,859
その他	49,561	40,097
貸倒引当金	△1,721	△1,721
投資その他の資産合計	128,176	145,533
固定資産合計	3,333,540	3,364,196
資産合計	12,279,283	12,157,154
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,737,351	1,477,842
短期借入金	3,750,611	3,411,385
1年内返済予定の長期借入金	589,466	681,576
未払法人税等	71,463	90,590
契約負債	362,677	522,891
賞与引当金	20,400	50,838
その他	476,222	499,311
流動負債合計	7,008,191	6,734,435
固定負債		
長期借入金	1,172,721	944,897
繰延税金負債	9,026	27,505
再評価に係る繰延税金負債	121,522	121,522
退職給付に係る負債	53,418	57,213
その他	23,593	23,255
固定負債合計	1,380,281	1,174,394
負債合計	8,388,472	7,908,830

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,355,227	3,355,227
資本剰余金	2,193,031	2,192,974
利益剰余金	△1,492,621	△1,236,499
自己株式	△158,086	△156,327
株主資本合計	3,897,551	4,155,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,926	35,098
繰延ヘッジ損益	△44,293	23,953
土地再評価差額金	105,710	105,710
為替換算調整勘定	△83,791	△72,289
退職給付に係る調整累計額	△22,526	△15,164
その他の包括利益累計額合計	△23,974	77,308
新株予約権	14,530	12,836
非支配株主持分	2,702	2,804
純資産合計	3,890,810	4,248,324
負債純資産合計	12,279,283	12,157,154

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	5,829,283	6,156,894
売上原価	4,445,511	4,359,023
売上総利益	1,383,771	1,797,871
販売費及び一般管理費	1,440,916	1,516,484
営業利益又は営業損失(△)	△57,144	281,387
営業外収益		
受取利息	1,051	6,868
仕入割引	5,416	8,660
為替差益	102,580	79,881
助成金収入	12,492	254
その他	7,473	6,754
営業外収益合計	129,014	102,418
営業外費用		
支払利息	27,237	30,628
支払手数料	1,144	750
支払割引料	2,531	3,598
その他	708	1,486
営業外費用合計	31,622	36,463
経常利益	40,247	347,341
特別利益		
固定資産売却益	209	—
債務免除益	21,062	—
特別利益合計	21,271	—
特別損失		
固定資産除売却損	12	4,160
投資有価証券売却損	1,386	—
関係会社清算損	—	8,424
特別損失合計	1,398	12,585
税金等調整前四半期純利益	60,119	334,756
法人税、住民税及び事業税	37,861	69,497
法人税等調整額	—	9,400
法人税等合計	37,861	78,897
四半期純利益	22,258	255,858
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△272	△262
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,530	256,121



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	22,258	255,858
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,820	14,172
繰延ヘッジ損益	21,213	68,246
為替換算調整勘定	△50,433	11,866
退職給付に係る調整額	△4,284	7,361
その他の包括利益合計	△28,685	101,647
四半期包括利益	△6,426	357,505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,888	357,403
非支配株主に係る四半期包括利益	461	102

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	60,119	334,756
減価償却費	90,501	70,649
受取利息及び受取配当金	△1,938	△8,101
支払利息	27,237	30,628
投資有価証券売却損益 (△は益)	1,386	—
固定資産除売却損益 (△は益)	△196	4,160
関係会社清算損益 (△は益)	—	8,424
助成金収入	△12,492	△254
売上債権の増減額 (△は増加)	△289,163	△94,897
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△27,811	335,561
仕入債務の増減額 (△は減少)	670,800	△264,194
未収入金の増減額 (△は増加)	△315,402	168,831
その他	△21,404	315,279
小計	181,635	900,845
利息及び配当金の受取額	1,940	8,095
利息の支払額	△27,250	△24,427
助成金の受取額	12,492	254
法人税等の支払額	△17,039	△37,151
営業活動によるキャッシュ・フロー	151,779	847,614
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	—	△490
有形固定資産の取得による支出	△38,406	△68,645
有形固定資産の売却による収入	536	—
無形固定資産の取得による支出	—	△360
投資有価証券の売却による収入	3,913	—
その他	△215	1,287
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,171	△68,209
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△84,835	△391,209
長期借入れによる収入	250,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△335,732	△335,714
その他	△14,002	△5,508
財務活動によるキャッシュ・フロー	△184,569	△532,432
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,058	△2,568
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△57,903	244,404
現金及び現金同等物の期首残高	976,471	1,135,894
現金及び現金同等物の四半期末残高	918,567	1,380,299

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。